

令和5年度

登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

関東ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて9頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題 1 登録基幹技能者に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 登録基幹技能者は、現場における高度なマネジメント業務を担う。
2. 登録基幹技能者は、現場における元請の計画に参画する。
3. 登録基幹技能者は、現場における元請の管理業務に参画する。
4. 登録基幹技能者は、現場における仲の良い他職種の技能者の補佐をする。

問題 2 建設キャリアアップシステムに関して、最も不適当なものはどれか。

1. レベル 1 は、見習い技能者であり、カードの色はホワイトである。
2. レベル 2 は、一人前の技能者であり、カードの色はブルーである。
3. レベル 3 は、職長であり、カードの色はシルバーである。
4. レベル 4 は、軽度なマネジメント能力を有する技能者であり、カードの色はイエローである。

問題 3 登録基幹技能者の活用に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設生産現場の生産性の減少・建設生産物の低下につながる。
2. 登録基幹技能者を雇用・育成する優良な専門工事業者の受注機会の拡大が図られる。
3. 建設産業の担い手の確保・育成に大きく寄与することができる。
4. 工場の生産性の向上や品質、コスト、安全面で優れた施工を確保することができる。

問題 4 登録基幹技能者に求められる能力に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 施工技術及び施工管理に係る基本的知識と優れた技能を有し、かつ、リーダー役として、部下を直接指揮、監督して、品質、コスト、安全面で質の高い施工を実現できる。
2. 運転技術に係る高度な技能を有し、重機操作にかかる作業工程を通じて的確に施工管理を行うことができる。
3. 安全管理に係る基本的な知識を有し、作業手順書の作成、KY 活動、新規入場時の受入教育、作業改善等の一連の安全管理活動ができる。
4. 品質管理に係る基本的な知識を有し、工事工程表に基づき工程の進捗管理を行うとともに、不測の事態の発生に対応する修正工程の立案ができる。

問題 5 登録基幹技能者に必要な資質に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 統率力がある。
2. 人を率いるには、人間愛が必要である。
3. 厳しさと怒りがなくては人はついてこない。
4. 厳しさの中でも暖かい配慮こそが肝要である。

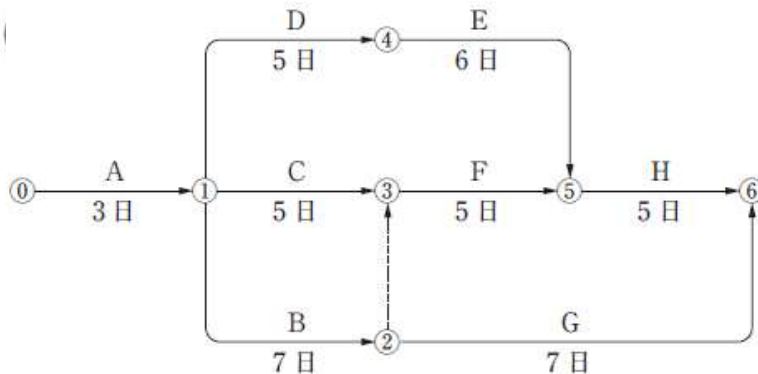
問題 6 登録基幹技能者としての法令の遵守に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 雇用契約とは、労働者が雇用者の指揮・命令に従って仕事をするを約束し、雇用者は労働者から提供された労務に対して報酬（賃金）を支払うことを約束することにより成立する契約である。
2. 請負契約とは、請負者が契約に定められた仕事を完成することを約束し、発注者がその完成された仕事に対して報酬を支払うことを約束することにより成立する契約である。
3. 労働者派遣契約とは、自己が雇用する労働者との雇用関係を維持したまま、その労働者を他者の指揮・命令下において従事させることを内容とした契約である。
4. 建設業務に対する労働者派遣は認められているので、「請負契約」を締結していながら、労働力を供給し、実態としては「労働者派遣契約」であるケースが多い。

問題 7 登録基幹技能者が担うべき指導・教育、自己啓発に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 元請の施工管理技術者は、新規の技能者が現場に入場する時に教育を行うが、安全教育を主とするもので、実際の作業手順・方法といった現場作業に関することは、登録基幹技能者などの上級技能者が指導しなければならない。
2. 技能者の熟達度を判断して適切な配置、作業方法、作業手順、施工指示、指導・教育を建設現場で行うことにより、作業を通して技能者のレベルを上げていくことを、OJT という。
3. OJT は、職場の上司が部下の育成のために、日常の作業を通して行う指導・教育である。
4. OFF-JT は、日常の仕事を通じて行う集合研修・教育のことである。

問題 8 次の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



1. この工程表のクリティカルパスは、A-B-F-Hである。
2. この工程表の工期は、20日である。
3. 作業Eのトータルフロート（余裕日数）は、1日である。 $15-(8+6)=1$
4. 作業Eの最早開始時刻（EST）は、10日である。

問題 9 新しい技術に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 3次元座標を計測する測量機器にレーザーレベルがある。
2. 3次元座標を計測することのできるGNSS（GPS）がある。
3. 3次元形状をデジタルデータとして大量の画像から3次元形状を復元する写真測量がある。
4. レーザーにより3次元形状を点群データとして記録するレーザースキャナ等がある。

問題 10 施工管理項目とその内容に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 施工計画は、工事施工にあたり、設計図書だけを検討し、どのように目的物を完成させるかについて示すものである。
2. 安全管理は、第三者や作業員の安全を確保するために行う管理である。
3. 品質管理は、設計図書・仕様書等発注者の要求に基づいて施工計画・施工図等を作成し、建築物の品質を管理するものである。
4. 原価管理は、請負契約と施工計画から材料費、労務費、現場経費などの工事に関わる原価を算出し、実行予算通りに実施できるようにするものである。

問題 11 施工要領書の周知方法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 関係作業員全員参加のもとで説明する。
2. それぞれの工種、職種別に説明する。
3. 安全、品質の管理上の急所を入れて、説明すればよい。
4. 他職種との関連工事について説明する。

問題 12 会社経営と工事現場の原価管理に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 請負契約時に、ある程度精度のある見積原価を算出して、利益予測を行う。
2. 見積原価の管理段階では、請負条件を明確にする目的以外の質疑を行うことはできない。
3. 契約後現場条件に合わせた施工計画を詳細に検討し、実行予算を作成する。
4. 実行予算を枠組みとして発注し、資機材や労務を管理して、予算内に納める。

問題 13 専門工事業者の予算実績管理に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 実行予算と実績を比較して、予定通りに進めることが予算実績管理である。
2. 現場においては、特に施工量に対する人工数の目標を管理することが原価管理で重要となる。
3. 原価管理では、契約した工事がスムーズに行くように先を見通して元請と打合せする。
4. 他の外注業者との調整は、不必要である。

問題 14 設計品質と施工品質に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 品質には設計段階で定められる「ねらいの品質」である設計品質と、施工段階で実現する「出来栄えの施工品質」がある。
2. 発注者自身も関わって決めた設計品質を最終的に施工品質で実現することになる。
3. 「仕様規定」は、求める品質がより具体的に表現され、その成否の判断も明快である一方、施工に関わる技術革新や経済・社会の変化への柔軟な対応が難しい。
4. 「性能規定」は、詳細な方法を指定しないので、求める品質を明示し、それが満たされていれば良いとするが、総合工事業者や専門工事業者に対する権限と責任を狭めるものである。

問題 15 品質管理QC (Quality Control) に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 部材の強度・寸法等のばらつきをコントロールし、顧客の要求条件を満たす品質をつくり出すことが品質管理である。
2. 品質管理とは、「経済性を無視して、買い手の要求に合った品質の物又はサービスを作り出す」こと、と定義されている。
3. 顧客の要求条件を満たす品質を「経済的につくり出す」ためのカギは、品質のばらつきがランダムに発生する（一様分布）のではなく、正規分布にしたがう特性に着目することである。
4. 建設現場において統計的・客観的・分析的な視点からQC 7つ道具を活用して、効率的にQC活動を行うことができる。

問題 16 建設業法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設工事の請負契約の当事者は、各々対等な立場における合意に基いて公正な契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行しなければならない。
2. 建設工事の契約の締結に際して工事内容や請負代金の額などを書面に記載し、署名又は記名押印して相互に交付しなければならない。
3. 注文者は自己の取引上の地位を利用して、その注文した建設工事を施工するために通常必要と認められる原価に満たない金額を請負代金の額とする請負契約を締結してはならない。
4. 注文者は、その注文した建設工事を施工するために通常必要と認められる期間に比して著しく短い期間を工期とする請負契約としてはならないが、工期に及ぼす事象に関してはその情報を提供する必要はない。

問題 17 建設業法令ガイドラインに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設業の担い手を確保するために、処遇改善等を通じて建設業への若年層の入職者を促進することが必要であり、政府一体となって元請下請間の取引適正化に取り組んでいる。
2. 赤伝処理等による一方的な差し引き、指値発注による不適正な下請取引等、現状の建設業ではありえないことである。
3. 「建設業法令ガイドライン」は、元請下請間の建設業法に違反するかを具体的に示して、法律の不知による法令違反行為を防ぐことを目的としている。
4. 「建設業法令ガイドライン」は、元請負人と下請負人との対等な関係の構築及び公正かつ透明な取引の実現を図ることを目的としている。

問題 18 ラス系下地の二層下地通気構法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 防水紙に使用するアスファルトフェルトは 430 又は同等の性能を有するものとし、継目を縦、横とも 50mm 以上重ね合わせる。
2. 平ラスは木造外装用として不適格であるが、ひび割れ防止の補強材としては部分的に使用する。
3. ラス系下地の二層下地通気構法とは、通気胴縁の屋外側にラス下地板や面材を留め付け、その上に波型ラスをステープルで留め付ける仕様である。
4. 波型ラスを留め付けるステープルは、足の長さ 19mm の 1019J 程度のものを使用する。

問題 19 サッシュ埋め工法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. サッシュ埋め工法とは内壁・外壁に窓廻り、扉を取り付けた後、躯体との隙間をモルタルで埋め込む工法である。
2. 主な施工法としては片面に当て板をして鰻でモルタルを詰めるか、両面をせき板でふさぎ、サッシュ用モルタルポンプ（手動式）で注入する。
3. 内壁面、外壁面のサッシュ埋めには、どちらも防水剤を混入していないものを使用する。
4. 下地面とモルタルの付着をよくするため、下地を清掃し、吸水調湿材を塗布する。

問題 20 書籍・仕様書に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 「公共建築工事標準仕様書」の内容は、一般事項や仮設等の共通工事、施工方法、検査・試験方法など、共通的な事項および工法等について標準的な仕様を取りまとめている。
2. 「建築工事標準仕様書・同解説」は日本建築学会が発行しており、通称「JASS」（ジャス）ともいう。適切な施工標準を作ることを目的として工事の種類ごとに体系づけられ、JASS1 から JASS27 まであり、左官工事は JASS15 となっている。
3. 「左官施工法 2020」は（一社）日本左官業組合連合会が発行しており、「公共建築工事標準仕様書」を基にした内容の副読本として、時代に即応しながらも普遍的な基礎技能と知識を習得することに重点を置いている。
4. 設計図書間に相違や矛盾がある場合の優先順位は、①質問回答書、②現場説明書、③特記仕様書、④設計図、⑤標準仕様書である。

問題 21 既調合しっくいの施工に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 既調合しっくいは、粉末状の調合したしっくいが主流だが、保水材、化学繊維などを混合したものや、ペースト状のものなどさまざまな製品がある。
2. セッコウボード下地で上塗りのしっくいを直塗りする工法や、下塗り材の代わりに吸水調整材だけを塗布する工法も一般に行うことができる。
3. 上塗りの仕上げ工法は、押え仕上げの他に、なで切り仕上げ、パターン仕上げ、色しっくい仕上げなどがある。
4. 日本漆喰協会による「既調合しっくい」の定義の一つに、主原料である消石灰は、ドライベース換算での全重量の、上塗り用は 70wt%以上、中塗り用は 50wt%以上含有しなければならないとされている。

問題 22 左官工事の施工品質に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. セメントモルタル塗り仕上げは、モルタルによる最終仕上げは表面仕上げの要求性能を考慮して、モルタルの種類及び塗り回数を決定する。
2. ポリマーセメントモルタル CM-1・CM-2 は気温が 0°Cでも原則、施工品質上問題なく仕上がる材料である。
3. 夏期に直射日光を受ける壁面に施工する場合は、シート等で囲って養生し、急激な乾燥を防ぐようにする。
4. 近年の外壁タイルボンド張り工法（変性シリコン・エポキシ系）の下地施工において、タイルボンドとエチレン酢酸ビニル系とは接着の相性が悪いので、現場監督、タイル業者と打ち合わせをし、施工計画には注意を要する。

問題 23 セメントモルタル塗り工法に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. セメントモルタルは加水と同時に水和反応が始まり、温度によっても凝結時間が変化するので、可使時間は冬期 120 分夏期 60 分を目安とする。
2. セメントモルタルの調合は、下地側に塗られるものほど強度を高くする。
3. セメントモルタルの総塗り厚が 35mm を超える場合は、下地との高付着接着剤の塗布とグラスファイバーメッシュ伏せ込みによる組合せ施工が剥落防止に効果的である。
4. セメントモルタル塗付け後の急激な乾燥により、強度が低く接着力も不十分な塗り層となることは剥離の原因であり、この現象を「ドライアウト」と呼ぶ。

問題 24 現代しっくい施工要領（下地）に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 石膏ボードのスクエアエッジは、塗り壁の下地に最も適している。
2. ジョイント部で石膏の露出部がある場合に塗布する合成樹脂エマルジョンプライマーは、エチレン酢酸ビニル系ではなく、アクリル系のプライマーを塗布し吸水調整を行う。
3. 木製壁下地に石膏ボードを留め付けるビスピッチは、ボード周辺部で 100mm、一般部で 150mm を推奨している。
4. LGS 壁下地に張り付ける石膏ボードは、床から天井まで 1 枚で張れるサイズを使用するか、ジョイントをずらした 2 枚張りとする。

問題 25 左官工事に関する記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 左官の大きな特徴に、複雑な形状でも自由に形成することができる「可塑性」と、シームレスな仕上げが可能な「展伸性」という性質がある。
2. 左官工事の品質管理項目として、必要な強度と適当な表面硬度を有することが要求されている。
3. 付け送りとは、躯体の補修工事の一部として下塗りに先立ち、仕上げ厚を均等にするためセメントモルタルなどで予め不陸を調整しておくことである。
4. コンクリート打設の際、浮き水と共に浮上したセメント粒子からなる薄い泥状の物がコンクリート表面に形成した層を「ブリージング」という。